

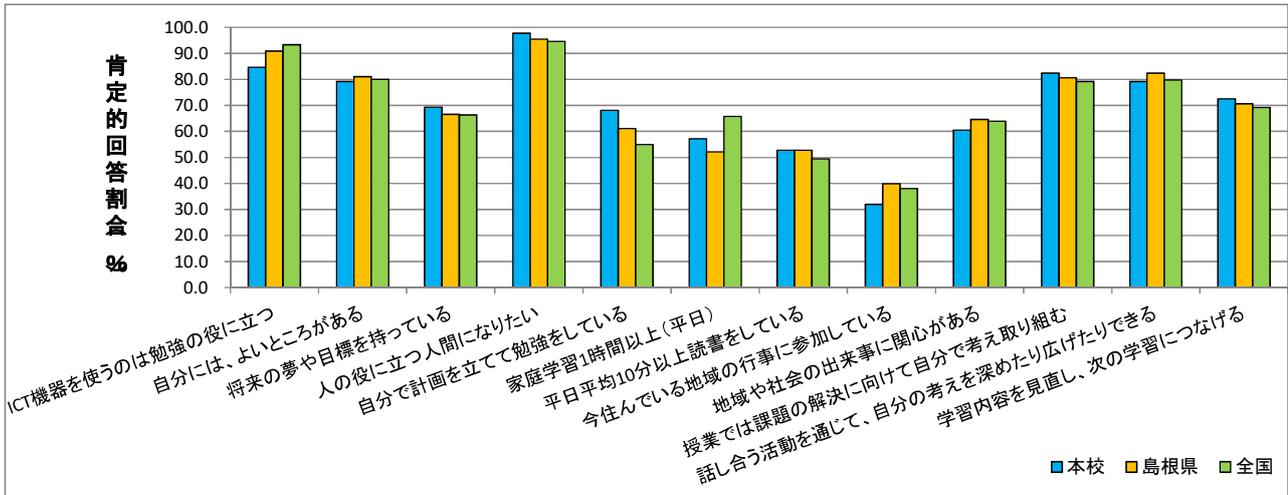
(1) 学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
国語	○基礎的なことが身に付いており、知識及び技能は、言葉、情報ともに正答率が県よりも高い。 ●記述式で答える正答率が低い。	・ワーク等を使って、条件に合った短作文を書く活動を多く設定する。
数学	○記述式の問題や思考・判断・表現に関する問題の正答率が全国の中でも比較的高い。日頃から説明や根拠を大切にしている成果だと考えられる。 ●数と式といった基礎の定着に課題が見られる。	・計算の際の式変形を丁寧にさせる。 ・式変形の根拠を問いかける。
英語	○書くこと、記述式の問題は県平均と同じくらいか、それ以上の正答率である。 ●読むこと、選択式の問題の正答率が低い。	・多くの問題に慣れさせる。

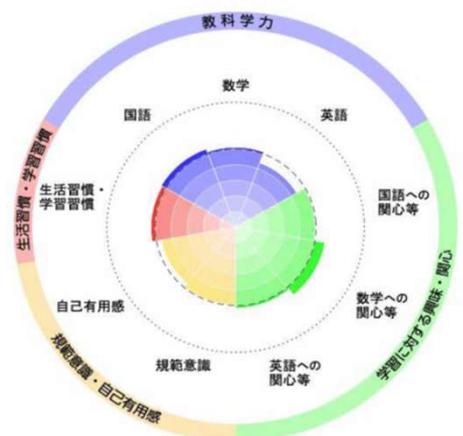
(2) 生徒質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
質問紙	○将来の夢や目標をもっている生徒の割合が非常に高い。人の役に立つ人間になりたいという生徒も多い。 ○自分で計画を立てたり、課題解決に取り組もうという生徒が多い。 ●ICT機器を使うのは勉強の役に立つと考える生徒の割合が低い。 ●今住んでいる地域の行事に参加している生徒の割合が低い。	・ICTの活用場面を増やしたり、効率的な使い方を教える時間を多くもつ。 ・今後とも総合的な学習の時間に、地域の「ひと・もの・こと」に触れることを通して、地域のよさや人の思いに気づき、地域の人とのつながりを深めていく。

(3) 生徒質問紙調査結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4) 学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- ・地域行事に積極的に参加する機会が元に戻つつある。地域、社会の出来事に目を向け、自分たちにできることは何かを考え行動に移せる生徒の育成に取り組む。
- ・ICT機器を効果的に活用していくために、機器やソフトウェア活用の実践例を情報収集するとともに各種研修へ積極的に参加する。さらに校内で研修を充実させ、活用の推進に取り組む。

【受検者数】  
89 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。